

今月の古河っ子

いい子が育つ古河



鈴木里弥ちゃん
(令和6年6月生まれ)

わが家のアイドル♡いつも笑顔をありがとう！



佐藤楓ちゃん(右)
(令和6年9月生まれ)

生まれててくれてありがとう♡元気に育ってね！



大里琉空翔くん
(令和5年7月生まれ)

生まれててくれてありがとう！愛してるよ♡



石嶋茜音ちゃん(左)
(令和4年12月生まれ)

いつまでも仲良し姉妹でいてね！パパママより



神永司冴くん
(令和5年12月生まれ)

毎日癒やしをありがとう♡元気にすくすく育ってね！



山中瑛太くん
(令和6年7月生まれ)

元気いっぱい生まれてきてくれてありがとう♡



お子さんの写真を募集中！<対象>0～3歳の市内在住のお子さん <応募方法>メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ひりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(総シティプロモーション課TEL92-3111)へ申し込みください♪



選手の心身を支える スポーツドクターに

青木麟さん 古河第二中学校3年生

わたしの夢

私はこれまでバスケットボールを続けてきて、多くのけがを経験しました。その度にドクターの方に治療していただき、心身ともに支えられました。けがの治療だけでなく、プレーについての話や、落ち込んでいる時の励ましの言葉のおかげで、けがによる不安や焦りが和らぎました。その経験から、私も選手の体だけでなく、心も支えられるようなスポーツドクターになりたいと思うようになりました。

これから、医療の専門的な知識を習得することはもちろん、さまざまな人と積極的に交流し、スポーツに親しみながら、夢に向かって歩んでいきます。



表彰式に参加した西村務校長(右)と田中知彦教諭(左)

キラリ◆ 古河ビト

子どもの経験値を増やす機会を キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰を受賞 中央小学校の皆さん

学校行事や体験活動を通して、人間性豊かな児童の育成を目指している中央小学校。その取り組みが評価され、2月に第17回キャリア教育優良学校として表彰されました。キャリア教育とは、子どもたちの自立・向かう能力などを育てる教育であり、同校の田中教諭を中心に行われています。中でも学校祭の「どんぐり祭り」は児童の成長を大きく感じられた活動の一つで、令和5年度から児童主体で出し物の企画を始めた事がきっかけです。最初は学級内での考えがまとまりず、けんかをする児童もいましたが、徐々に互いの意見を尊重し、協力し合う姿勢に変わりました。お客様が楽しむための工夫を一人一人が考えたことで、当日はとても盛り上がったそうです。また「米作り体験」として市内農家の協力のもと、田植えから稲刈りまで実際の米作りを体験。生産過程や生産者の思いを学ぶことで、自分たちに何ができるかを考える機会になつたと田中教諭は話します。今年度は創立40周年を迎える節目の年。子どもたちにとってさらなる飛躍の年となるよう、今後も活動を続けていきたいと西村校長は語ります。かしこく、やさしく、たくましく成長する子どもたちの将来が楽しみですね。



▲どんぐり祭りで活躍する児童



▲米作りに真剣に取り組みました



▲ニュージーランドの高校生と会話